

階段への施工について

1 施行前の確認

基本的にサイザル麻・ココヤシ床材は階段に施工できますが、どちらかと言えば厚いものより薄いもの、また、織り柄についてはループ織の方が施工面・安全面において適しています。

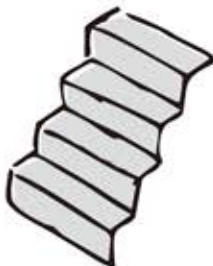
2 施工する階段のタイプを確認

施工する階段のタイプをご確認ください。

形状	直階段・廻り階段・折り返し階段
タイプ	箱型・露出型・複合型
材質	木・鉄板・その他
その他	アゴ付・アゴ無し・ノンスリップ有り・ノンスリップ無し

施工場所による当社推奨の施工方法

● 全面貼り



- 材料が固く折りにくい場合は、接着剤塗布前に、折り曲げ箇所を裏面よりカッター等で少し切り込みを入れておいてください。
- 変形階段の場合は、施工前に採寸・裁断、アゴの内側部分でジョイントしてください。
- 通常温度の屋内であれば、両面ゴムのりにて接着してください。
- 接着剤塗布後は、溶剤の影響で裏打ち材が柔らかくなります。
- ゴムハンマー等で圧着してください。
- 接着剤が硬化するまで、釘、板切れ（釘打ち）、重し等で養生してください。

● 部分貼り



- 踏板のみ全面(ノンスリップ有り)**
施工前に採寸し、切り貼りしてください。
- 踏板のみ全面(ノンスリップ無し)**
施工前に採寸し、切り貼りしてください。
接着剤が硬化するまで、釘、板切れ(釘打ち)、重し等で養生してください。
- 踏板の中央部分だけに貼る場合は、オーバーロック加工等でほつれ止めしてください。

● 巻き込み



- 通常は、上記の"全面貼り"工法と同様です。
- 但し、アゴ部分などを巻き込み箇所が、生地の反発力で戻る場合は、隠し釘等を併用してください。
出来るだけ目立たないように、織り目の凹部分へ釘打ちし、その後、生地色に近い色で釘に着色すると効果的です。